

R6. 3. 28 議会運営委員会資料

議員アンケートまとめ

現在の議員定数（25 人）に関するアンケート結果を、区分ごと（①適当である、②多い、③少ない）に集計したもの。

1 定数について

(1) 現定数（25 人）についての考えと理由

区分	回答者数	理由
① 適当である	10 人	・本市の財政規模や常任委員会の人数配分などを考えると適当である ・経費と議員数のバランスは良いと思います。 ・都市と田舎の広域な地域であり ・都市整備等の課題がある ・議員定数減について 1. 議員数が少ないと、地域の代表が少なくなる。 2. 地域の代表がいなくなると、その地域住民の声を十分に反映することが難しくなるのではないか。 ・平成 25 年 28 議席、平成 29 年 26 議席、令和 3 年 25 議席と選挙毎に定数削減をおこなった。人口減はあるものの、広大な地域性を考慮すれば適当と考える。 ・議員の提案やチェック義務は当然としたとした上で議員は地域や地元意識を持った取り組みや対応が地域住民より期待されているが、すでにその現状は損なわれつつある中で人口比率や他市の状況に沿った削減傾向には疑問を持っている。それぞれの自治体に見合った定数があるのでは、増員は困難と思われるので現状を維持することを望みます。 ・今の常任委員会の活動を見ると、ベストである。 ・他市と比べても、適当である。 ・議会機能の維持のため、一定の議員数は必要。 ・市民の要望を市政届け、市政をチェックするためには 25 名は必要。 ・現在の定数で、常任会の配置が丁度よい。 ・定数減にすると広く市民の意見が聴取できない。 ・現状の市民意識では、街中の候補者は団体出身者のような人でないと多くによく票は望めないので定数を減らさないこと。
② 多い	14 人	・人口比率に対して多い。 ・市民の声から、削減せざるを得ない。理由①議員の活動が見えない。②一般質問の発言者から、1 度も発言しない議員もいる ・人口減少と高齢化が進む中、将来を見据え見直す時期。その背景から考慮すると削減する選択肢しかない。 ・他市に比べ比較的高齢者が多い本市では議員が多い。（但し、根拠無し） ・（個人の意見）Q5 で回答させて下さい。 ・類似団体と比較して。 ・人口が減少してきているため、それに応じて定数を決めていく方が良いと考える

		・ 4年間で約 4000 人の人口が減少 92000 人÷25=3680 人/議員 1 人議員 1 人に当たる人口が減少している。 ・ 人口、財政規模に準じた定数が適正と考える。 ・ 市民の声を聞く。 ・ 周辺自治体とのバランス。 ・ 質問・質疑等議員の活動を見る限り議員の役割を果たしていない議員が存在するが特に議会は困っていない。 ・ 1 人のパフォーマンスを上げれば人数は減らせる。 ・ 毎年 1000 人強の人口が減少している中、相応の議員数にしていけないと市民の納得が得られないのではないのでしょうか。 ・ 4 年前の検討において、2 議席減のご意見もあったが 1 議席減にした経緯もあります。 ・ 人口減少、財政状況 ・ 類似団体や県内他市との均衡 ・ 市民の声に配慮 ・ 全国類以自治体の定数から ・ 人口減少に伴い議員定数も少なくする方が良い ・ 議員定数を少なくした分、議員報酬を上げて、若い世代でも議員報酬だけで生活できるようにする ・ 市民の意見を聞いたとき、今より削減する方が良いが多かった。
③少ない	1 人	・ 市民の声を届けるには少ない
計	25 人	

(2) 適正と思う定数

区分	適正と思う人数	回答者数
①適当である	—	10 人
②多い	22 人	2 人
	23 人	1 人
	24 人	11 人
③少ない	28 人	1 人

2 今後の議会活動において重視すべき議会機能（複数回答内訳）

区分	回答者数 (複数回答)	「④その他」意見
①適当である（10人）		
①住民代表機能※1	9人	
②行政監視機能※2	8人	
③政策立案機能※3	8人	
④その他	1人	・議員研修機能(集合研修) 議会運営論、自治体制度、自治体法務、自治体財務などの研修
②多い（14人）		
①住民代表機能※1	14人	
②行政監視機能※2	11人	
③政策立案機能※3	12人	
④その他	2人	・特定に方に限定せず、市民の声を聞く機能。傾聴活動。 ・市政及び議会の広報活動
③少ない（1人）		
①住民代表機能※1	1人	
②行政監視機能※2		
③政策立案機能※3	1人	
④その他		

(※1)：住民の意見を把握し、市政に反映する機能

(※2)：事務事業の調査や議案の審査

(※3)：施策を立案（提案）する機能

3 定数の議論において、重視すべき論点（複数回答内訳）

区分	回答者数 (複数回答)	「⑤その他」意見
①適当である（10人）		
①議会機能の充実（※）	9人	
②類似団体や県内他市との均衡	3人	
③市民感情への配慮	0人	
④多様な人材の確保	5人	
⑤その他	1人	・経費削減が必要で有れば、市民意見を広く反映させるため議員数の削減でなく、政務活動費や給与の削減が望ましいと思います。
②多い（14人）		
①議会機能の充実（※）	13人	
②類似団体や県内他市との均衡	8人	
③市民感情への配慮	6人	
④多様な人材の確保	5人	
⑤その他	0人	
③少ない（1人）		
①議会機能の充実（※）	1人	
②類似団体や県内他市との均衡		
③市民感情への配慮		
④多様な人材の確保	1人	
⑤その他		

（※）：【例】民意を把握するための適正な議員数（人口や面積からの視点）、調査や審査など活発な議論を行うために必要な委員数、市の事務事業を網羅するための適正な委員会数や委員数

4 定数についての意見（自由記入）

- ・削減には反対である。女性参画を本気で考えているなら、女性議員数を増やすクォーター制を取り入れるべきだと思います。
- ・定数についてはありません。但し、本会議は別として委員会を初めとして、女性や仕事に支障のない時間帯（例：16時以降の開催等）の見直しについて幅広い意見を調査してみては如何？
- ・定数の議論は、上記?議会機能の充実を語ることを最も重視すべきである。つまり3つの機能?住民代表機能、?行政監視機能、?政策立案機能である。
- ・定数議論になれな、減らすことばかりが議論になるが、議会の機能や1人1人のパフォーマンス、議会としての行動の振り返りなどをした上で、25人の仕事をしているのかを検証すべき。例えば、議長も常任委員会に入ってはどうか？他の市町や県議会では、議長も常任委員会に入っているところもある。
- ・地域の代表が出せる議席数が望ましい
- ・前回検討のおり24議席案と現状維持案(26議席)の意見があり、市民感情と他市との比較の上で25議席でまとまった。暫くの間は現状維持が適切と考える。
- ・現状では1減が限度
- ・議員の提案やチェック義務は当然としたとした上で議員は地域や地元意識を持った取り組みや対応が地域住民より期待されているが、すでにその現状は損なわれつつある中で人口比率や他市の状況に沿った削減傾向には疑問を持っている。それぞれの自治体に見合った定数があるのでは、増員は困難と思われるので現状を維持することを望みます。
- ・極端に議員の定数を少なくともする必要はないが、定数を減しても議会運営に支障はないと考える
- ・現状で良し！
- ・国会議員の定数削減が積極的でない中、地方議員の定数減だけが先行し過ぎている。
- ・現在の定数でよし。広く市民の意見を政策に活かすために。

5 講師に聞いてみたいこと（自由記入）

- ・地域によっては議員がいない地区が出てくると思うが、どのように対応すべきなのか。
- ・議員給与などが高過ぎるから、市民の批判が出るのだと思います。小さな自治体では議員給与も低い、議員こそ市民の立場に立ち、平均的生活が出来る程度の給与とすべきだと思います。
- ・定数と、報酬・税収面などの関連。
- ・報酬の決定の判断基準は？
- ・定数の検討は、議会機能の充実を語る事が最も重要だと思います。類似団体や県内他市の比較検討は定数2～3人の差異があればともかく、2～3の市議会で仮に同人数であっても、その人数が果たして適正定数か判断するには難しいのではと思います。統計資料は大変参考(目安)にはなります。例えば、議会費の範囲内で、議員報酬の増減、定数の増減、あるいは定数そのまま議員報酬減とかは、どうでしょうか。また、そのような事例はあるのでしょうか。
- ・クオーター制の導入は可能か？私も含まれるが高齢男が多い傾向にある議会が、市民意見を反映するのに偏りがでていないかいつも思います。そういう意味でクオーター制の導入検討価値はあると思います。
- ・最適な議員数はあるのでしょうか
- ・議員の資質や能力、活動実績に対し評価点をつけている例があるか。
- ・検討する要件に面積を地域要件のようにいわれるが、本市の様に20人を下ることがない場合でも重要なことでしょうか。議会機能についても同じ様な事が言えると思うがどうでしょうか？
- ・何を基準にするのが、良いのか？
- ・市民から議員定数削減の声はあるが、市民が望む議員、議会とは何か？
- ・定数を単純に人口で比較しない。他にどんな要素を検討すべきか。